

情報技術教育分科会 活動内容 2004年
第3回ソフトウェア・ツール学生コンテスト

- 主催 化学工学会 システム・情報・シミュレーション部会・情報処理技術教育分科会
- 協力 (株) オメガシミュレーション
- 会場 東北大学ー化学工学会第36回秋季大会 K 会場(C102 教室)
- 日時 平成15年9月13日(土曜日)ー第36回秋季大会第2日目
- 応募資格 大学・大学院・高専などに在学中の学生の個人またはチーム
(ただし、平成15年3月卒業・修了の社会人はチームメンバーに参加可)
- テーマ 必要なときに、必要なデータ、必要なモデル、必要なツールを引き出し活用することで、高度な化学技術の創出や、意思決定の支援を行う」、そのような「ユビキタス」な環境を構築する能力、または使いこなす能力こそ、社会が求める情報技術ではないでしょうか。
本学生コンテストは、化学工学を志す学生諸君の継続的な情報技術の学習を応援すべく、個人的に作成したソフトウェア・ツールを一堂に会し、その工夫や努力に対してエールを送ろうという企画です。今回は、
(1) Webアプリケーション部門
(2) 一般ソフトウェア・ツール部門
の2部門に分けて、コンテストを実施します。(1)では、オンライン、オフラインを問わず、広い意味で、WebやInternetを活用したソフトウェアを対象とし、(2)では、その他、独自で開発したソフト(計測、データ処理、シミュレーション)や、既存のソフトウェアの利用(新しい使い方、ちょっとした工夫)などを対象とします。各種・副賞を用意していますので、ふるってご応募ください。
- 発表形式 応募件数により若干変わりますが、デモンストレーションを中心とした発表形式と致します。尚、コンピュータ等デモ用機材は各自ご用意いただきます。
(発表時間、発表形式の詳細は、応募件数が確定した段階でご連絡致します。)
- 審査方法 一般来場者の投票及び主催分科会委員から選ばれた審査委員による審議
- 参加者一覧
(優秀賞)
作者：渡辺 紘道(東京工業大学)
テーマ：「証券売買のための売買意志決定支援システム」

作者：大権 隆太(名古屋大学)
テーマ：「オメガランドを用いた熔融炭酸塩形燃料電池-マイクロガスタービンハイブリッドシステムの解析シミュレーション」

作者：木村 浩幸、石本 和志(九州大学)
テーマ：「WEB投票システム」

(優秀賞)

作者：黒崎 章 (奈良先端科学技術大学院大学)

テーマ：「技術伝承支援システム」

作者：KHEAWHOM SOORATHEP (東京大学)

テーマ：「不確実性を伴うプロセスデザインのための多目的最適化ツール」

作者：鎌田 憲司 (東京工業大学)

テーマ：「化学工学基礎教育のための単蒸留計算ツール」

(最優秀賞)

作者：山内正之、小林 典恵 (東京工業大学)

テーマ：「議事録作成支援システム」

コンテストを終えて

化学工学会第36回秋季大会におきまして、「第3回ソフトウェア・ツール学生コンテスト」を開催しました。第3回目ということで、恒例となった感があります。

今回は、昨年第2回と同じ7チームの参加を得て開催しました。

コンテストは、1チーム5分ほどのプレゼンテーションとポスター形式のデモンストレーションで構成し、参加者、主催者及び来場者全員で採点する方式をとりました。

昨年よりプレゼンテーションの時間を短くとり、デモンストレーションに多くの時間をさきました。

プレゼンテーションにおいては、通常の学会発表のようなものもあれば、動画をふんだんに使ったもの、複数人によるやりとりを行うものなど、ユニークであり熱意を感じました。

デモンストレーションに移り、各ブースでの質疑応答が始まるとさらに盛り上がりを見せ、会場は熱気にあふれました。来場者も熱気に誘われるように会場を訪れ、さらに熱気を増していきました。各出品者は出品作品を分かってもらおうと熱心に説明していました。

今回は例年以上に関係者以外の来場が多く、認知度が上がってきたことを感じました。

採点は、参加者、主催者及び来場者全員で行い、2組に優秀賞、1組に最優秀賞を与え表彰致しました。各作品ともオリジナリティと熱意にあふれており、難しい採点となったようです。

募集時にはWeb部門と通常部門に分けて採点する予定でしたが、各作品ともバラエティに富んだ作品であるにも関わらず、出品作品の関係上、分けることができなかつたことも採点を難しくした要因のひとつでした。また、会場の都合によりネットワーク接続に制限があり、インターネットに接続することを前提とする作品にとっては不利な環境にあったことは否めません。

セキュリティの問題もからむため、ネットワーク接続に関しては今後の課題と感じました。

次回は未定ですが、プレゼンテーションやディスカッションを通じて情報交換し、さらなる発奮材料として頂くよう、より多くの学生諸氏に参加して頂くことを心よりお待ちしております。

化学工学会・SIS部会・情報処理技術教育分科会

オーガナイザー：九州大学 武田和宏